

道徳科 小学校第6学年 単元名：ともに生きる (全3時間)

授業者：四万十市立東中筋小学校 堀岡 知世 児童生徒：16人

【単元のねらい】

ユニットを通して「ともに生きる」について考えるために、1、2時間目には、相手の立場に立った親切、思いやりについて考え、それを3時間目のロベータとジョルジュじいさんにつなぎ、最終的には支えられてきた自分に戻し、「感謝の心をもって」応えようとする道徳的実践意欲を培う。

【単元を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・ともに生きるには、相手のことを考えることが大切だと思った。
- ・これから中学生になって、新しい友達と出会いトラブルが起こった時には、話し合いをして自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも聞きながらよりよい関係を築いていきたい。
- ・相手のことを一生懸命考えて、行動したり声掛けをしたり時には見守ったりしながら、たくさんの人々と関わっていきたい。
- ・自分の事を考えて支えてきてくれた人もいるので、感謝の心を持ちたいし、自分がしてもらったことをほかの人にもしてあげたい。

単元構想

時	実施日(時限)	主題名・内容項目(関連項目)	教材名(出典)	主な学習活動
1	11月17日 (5時間目)	相手の立場に立って 【親切、思いやり B(7)】	車いすの少女 (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・啓太はどのような思いで少女に手を貸そうとしたか考える。(1、2班) ・母はどうして「やめてください。」と言ったのか考える。(3、4班) ・今日の授業や今までの授業を思い出しながら、「ともに生きる」について考える。
2	11月24日 (5時間目)	相手の立場に立った言動 【親切、思いやり B(7)】	「がんばる」はぼくの宿題 (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・「もう……、頑張れません。」と言われた鎌田さんの気持ちを考える。 ・患者さんからの宿題によって鎌田さんがどんなことに気付いたか話し合う。 ・今日の授業や今までの授業を思い出しながら、「ともに生きる」について考える。
3	11月27日 (5時間目) (本時)	感謝の心で 【感謝 B(8)】	最後のおくりもの (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてこんなにも二人の関係が近づいたのかを考える。 ・ロベータがした決意について考える。 ・お互いがもらった最後の贈り物について話し合う。 ・今日の授業や今までの授業を思い出しながら、「ともに生きる」について考える。

道徳科学習指導案 小学校第6学年		授業者：四万十市立東中筋小学校 堀岡 知世		児童生徒：16人 令和2年11月27日（金）5時間目	
【主題名】 感謝の心で		【感謝】 B-(8)		【教材名】 最後のおくりもの（廣濟堂あかつき）	
【本時のねらい】 ロベータがジョルジュじいさんからもらった「最後のおくりもの」について考えることを通して、人々に支えられていることに感謝し、それに応えていこうとする道徳的実践意欲を培う。					
【指導の要点】 ロベータが何を決意したか、またどうしてそのような決意ができたかを考えることにより、感謝の念をもって支えに応えようとすることについて考えを深めさせる。					
【主題に関わる児童生徒の実態】 ・学校行事や普段の生活で校内や校外の人々、家族に自ら進んでお礼が言える児童は数名で、お礼を言ったとしても気持ちがこもってなかったり、言えなかったりする児童がいる。 ・友達に励まされたり応援されたときは、素直にそれに応えたり感謝の気持ちを伝えたりすることができる。			【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】 ・今までは当たり前と置いていたけれど普段の生活で、お母さんやお父さんにたくさん支えられていると気づくことができた。これからは当たり前とは思わずに、感謝の気持ちを伝えていきたいし、自分ができることを探していきたい。 ・ここまで大きくなるのにたくさんの人に支えられていた。これから出会う人を大切にして支え合い、感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたい。		
指導上の工夫			板書計画（ポイントのみ）		
自分自身との関わりで考えるための工夫	・自己との関わりについて考えさせるために、ユニット3時間を通して自分がこれから「ともに生きる」ために大切にしたいことを考えさせる。		<p>The diagram illustrates the lesson's conceptual flow. At the top left, a vertical box contains the text '車いすの少女「がんばる」は多くの宿題「最後のおくり物」'. Below this is a box labeled 'ともに生きる'. To the right, a cloud contains the word '決意' (Decision). Below the cloud are two circles, with a vertical box between them labeled '関係が近くに'. At the top right, a vertical box contains '最後の「おくりもの」'. On the far right, a vertical box contains 'テーマ 最後の「おくりもの」 ともに生きる'. Dotted lines indicate the progression and connections between these elements.</p>		
多面的・多角的に捉えるための工夫	・どうして関係が近くになったのかを、両方の立場から考えることで、お互いに支え合っていることに気付かせる。				
主題に迫るための工夫	・ロベータがした決意について考え、どうしてそのような決意をすることができたのかを考えることを通して主題に迫る。				

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	1. 前時までの復習をする。	・相手のことを考える。 ・気持ちを込めて言葉をかける。 ・見守ることも大事。 ・「頑張れ」と相手の気持ちになって声をかける。
展開	<p style="text-align: center;">テーマ：ともに生きる</p> 2. 設定を確認した後、話し合う。 ◎どうしてこんなにも関係が近づくことができたのだろう。 ◆どうしてジョルジュじいさんはロベータを支えていたんだろう。 ◆どうしてお金を渡したのが自分だと名乗らなかったんだろう。 ◆お金をくれたと知ったから関係が近づいたのかな。 ◆どうしてきっぱりと「息子なんです。」ということができたんだろう。 ○ロベータは何を決意したんだろう。 ◆どうして決意することができたんだろう。 ○最後の贈り物でお互いがもらったものは何だろう。 3. テーマについて考える。 ○3時間通して「ともに生きる」について考えてきましたね。今もたくさんの人に支えられているけど、これからもたくさんの人に出会って生活していくと思います。「ともに生きる」ためにはどんなことが大切だと思いましたか。	(ロベータ) ・今までしてもらったことを思い出した。 ・応援してくれた。 ・お金をくれた。 ・恩返し。 ・家族のように思えたから。 ・自分のためにしてくれた。 ・おじいさんに何かしたい。 ・家族のよう。 ・大切にしたい。 ・お金に込められた思いが分かった。 ・すごく感謝している。 →お金に込められた思いを考えたから。 →こんなになるまで自分を支えてくれたから。 (ジョルジュじいさん) ・自分と重なった。 ・諦めてほしくない。 ・夢を託した。 ・息子と言ってくれた。 ・家族でもないのに家族のように思ってくれている。 ・夢を見せてもらった。 →・必死に頑張るロベータをほってはおけなかった。 →・重荷になりたくなかった。 ・もらってくれないと思った。 ・夢を叶えること。 ・おじいさんがいなくても夢を諦めないこと。 →おじいさんが自分の事を今まで支えてくれた。 ・ここで諦めたらロベータはおじいさんに何もできてない。 ・夢を諦めないことがおじいさんの気持ちに伝えることになる。 ・思い合う心 ・相手のことを考える気持ち ・感謝する心 ・支え合う ・夢 ・希望 ・生きがい ・思いやり ・支え合い ・感謝 ・助け合う ・相手を思う気持ち
終末	4. 振り返り ○今日の授業や今までの授業を思い出しながら、「ともに生きる」についての振り返りを書きましょう。	・これから中学生になって、新しい友達と出会いトラブルが起こった時には、話し合いをして自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも聞きながらよりよい関係を築いていきたい。 ・自分の事を考えて支えてきてくれた人もいるので、感謝の心を持ちたいし、自分がしてもらったことをほかの人にもしてあげたい。 ・ここまで大きくなるのにたくさんの人に支えられていた。これから出会う人を大切にしていって支え合い、感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたい。

【評価の視点】

自 ユニット3時間を通して「ともに生きる」ために大切にしたいことを考え、自分自身のことを振り返りこれからのことも考えている発言や記述がある。

多 ロベータとジョルジュじいさんがお互いを思っていた行動に対して様々な視点で考え、感謝の念をもって支えに応えようとするということについて考えを深めている様子が交流から伺える。